

アジャイル型政策形成・評価の在り方  
に関するワーキンググループについて

（令和 4 年 1 月 21 日  
行政改革推進会議決定）

1 趣旨

データ利活用環境を整備し、データを活用しつつ、スピーディに政策サイクルを回し、モニタリング・効果検証をしながら、柔軟に政策の見直し・改善を行っていくアジャイル型政策形成・評価の在り方とその方策について集中的な議論を行うため、行政改革推進会議の下に、アジャイル型政策形成・評価の在り方に関するワーキンググループ（以下「WG」という。）を開催する。

2 構成

- （1）WG は、別紙に掲げる者により構成することとする。
- （2）座長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めることができる。

3 庶務

WG の庶務は、デジタル庁、総務省等関係行政機関の協力を得て、内閣官房行政改革推進本部事務局において処理する。

4 その他

以上に定めるもののほか、WG の運営に関し必要な事項は、座長が決定する。

(別紙)

アジャイル型政策形成・評価の在り方  
に関するワーキンググループ構成員

伊藤 由希子 津田塾大学総合政策学部教授

◎ 大橋 弘 東京大学公共政策大学院院長

亀井 善太郎 PHP 総研主席研究員  
立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科特任教授

川口 大司 東京大学公共政策大学院教授

熊谷 俊人 千葉県知事

鈴木 周也 行方市長

星野 崇宏 慶應義塾大学経済学部教授  
理化学研究所 AIP センター経済経営情報融合分析チーム  
リーダー

◎は座長